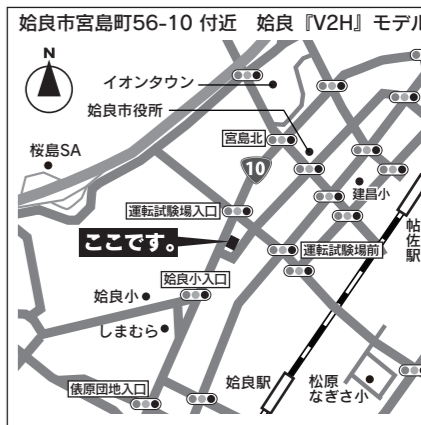


# 始良『H2V』展示場 公開中!



停電時、車から家へ電気を供給できる『V2H』システム搭載。感染症を提言できる循環空調システムと相乗効果のある設備。鹿児島に家族の日常と健康を守る家が完成しました。

2020年からは、自活エネルギー住宅の本格的なZEH(ゼッチ)の時代を迎えます。『V2H』住宅は、太陽光発電を軸に「自活エネルギー住宅」を実現。住宅とEV自動車とが連結し、家庭用蓄電池の10倍以上の蓄電能を持つEV自動車が、停電時等の家庭用電源としても機能します。

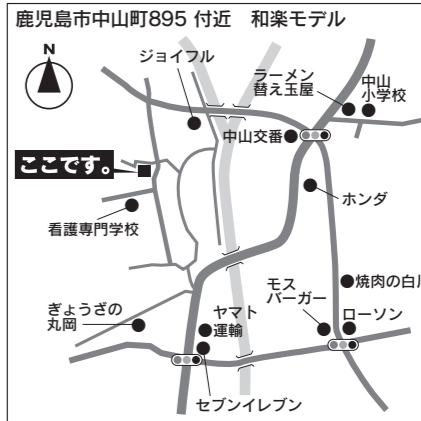
松下孝建設がご提案する近未来型の自活エネルギー住宅を是非ご体感ください。

# 和楽展示場 公開中!

ハイブリッド・エコ・ハートQ  
[エアコン1台、全室低温空調暖冷房]

matsushitataka  
**和楽**  
WARAKU

丁寧に仕上げられた『和』の意匠は  
静謐な美しさを  
いつまでも『楽』しめる

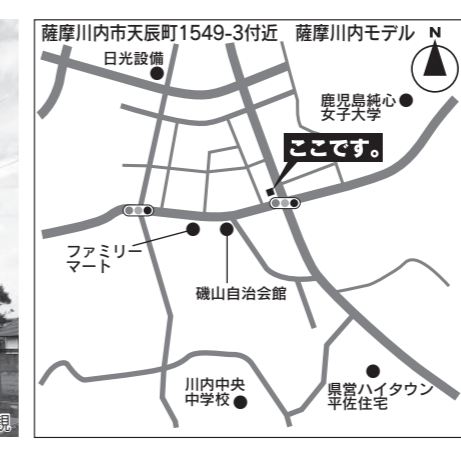


鹿児島の気候に適した高气密・高断熱と「循環空調」システムの「和」をイメージしたモデルハウスです。一般家庭用のリビングサイズのエアコンで室内空間のすべてが温度差なく、一年中を快適に過ごせます。

高性能樹脂サッシと24時間計画換気で、結露の発生を防ぎ、家族の健康と住宅の高耐久性を実現しました。

ZEH基準を標準クリアした外皮性能とハウス・オブ・ザ・イヤー2013で大賞を受賞した公的にも認められた施工技術の粋。外装、内装共にこれまでの松下孝建設とは少し違う趣を感じてください。

# 薩摩川内展示場 9月22日まで公開



松下孝建設のHybrid eco-heart Q工法は、充填断熱と外張り断熱のW断熱工法です。外張り断熱には、遮熱シートが貼られ、住宅が蓄熱されるのを防ぎます。内側の充填断熱は外部の影響を受けにくいので、保冷材として室内の急な温度変化を防ぎ、また、気密性が高いので、室内の涼しい空気が必要以上に外部へ逃げていくのを防いでいます。

松下孝建設が標準採用している第三種換気システムは、家全体の空気を動かし、エアコン一台でも温度差の少ない、快適な室内空間を実現しています。

住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 ☎0120-079-089

http://www.matsushitataka.co.jp/ Google・Yahoo!・infoseek・Excite・その他 松下孝建設 検索 一発ゴー!

# ひこうき雲

住宅ローン返済に困る人が増えていますが、金融機関もしっかり対応しています。

コロナ禍で住宅ローン返済に困っても、対策がありますから大丈夫ですよ!

## コロナ対策② 「軽減策・総負担額」で判断!

ご夫婦の収入合算でローンを組まれている場合!

色々のケースが考えられますが、自営業の夫と会社員の妻との収入合算で住宅ローンを組んでいる場合。新型コロナウイルスの影響で夫の収入が急減した、月10万円の返済が厳しくなった。このようなケースは、全国的にたくさん発生しています。

金融庁の調べでは、3月始めから5月までの3ヶ月間に全国の銀行に返済負担の軽減のための条件変更申し込みが1万4000件ほどあり、全国各地の金融機関は前向きに相談に応じる姿勢で、5月末まで実際に負担軽減が行われたのは、550件以上というのほり、断られたのは、50件と報告されています。このようにコロナ禍に対して金融機関は、自然災害に匹敵する対応を行っています。

さらに住宅ローンの延滞に伴い通常は、「信用情報」に記載されるために自動車など新たなローンが借り難くなりますが、

店頭での手続きの他に、ネットでの受付も可能!

条件変更の受付については、店頭他にネットでの受付も可

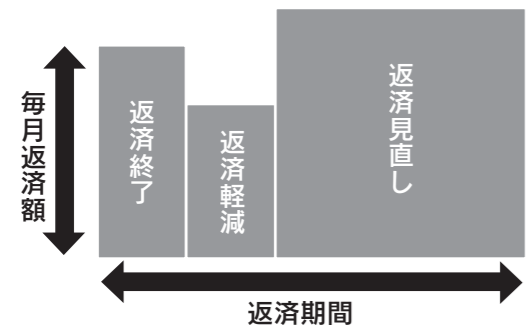
今回のコロナ禍に対しての負担軽減については、各金融機関とも原則として「信用情報」に残さないこととしています。

能な金融機関もあります。さらに条件変更の手数料についても、コロナ禍の返済負担軽減では、原則無料の金融機関も多いようです。

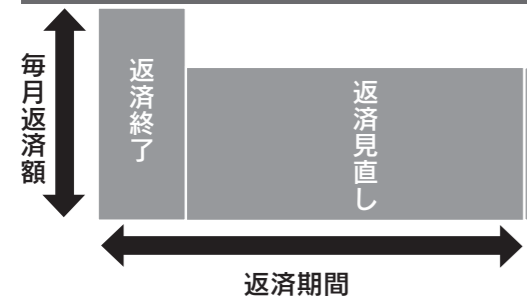
具体的な返済方法については、2つの方法が考えられます。それは左図、1の返済期間を変えずにコロナ禍の一時だけ返済を軽減してもらう方法、2の返

### A 毎月返済額の主な見直し策

#### 1. 返済期間を変えず、一時的に軽減



#### 2. 返済期間を延ばし、完済まで軽減



返済期間を延ばし、完済まで軽減する。方法があります。一般的には、①毎月の返済が完済まで同じ額になるように計算し、元金と利息を払っていく方法と、②最初は利息を多く支払い返済が進むにつれて元金の支払いを増やしていく方法です。

①は返済額を一定にする方法で、返済期間を延ばし、完済まで軽減する。方法があります。一般的には、①毎月の返済が完済まで同じ額になるように計算し、元金と利息を払っていく方法と、②最初は利息を多く支払い返済が進むにつれて元金の支払いを増やしていく方法です。

### 3. 毎月返済額約10万円を8年間に減らす資産例

総返済期間	一時的軽減	
	35年	43年
軽減期間	2年	33年半
総返済額の増加額	約13万円	約240万円

この二つの方法で総返済額はどれくらい違うのでしょうか? 10年前に3000万円を35年返済、年利2%で借り、毎月の返済額を約10万円から8万円に減らしたいケースでは、最初の方法で軽減期間を2年間にすると、その後に毎月の返済額は約2000円増えることになり、総返済額の増加は、約13万円にとどまります。

一方、完済まで約8万円に減額すると、返済期間を8年半の返済期間を延ばして、返済総額は、約240万円に膨らみます。さらに注意しなければならぬのは、返済が遅れて、老後にローンを抱えるリスクです。一般に50代半ばからは給料が減り、返済が長引けばリタイア後の生活に影響が出てきます。フラット35の返済延長は、最長15年で、年齢80歳までとなっています。ネット銀行の中には、返済開始から35年を超えての延長は出来ないところもあります。返済負担の軽減でその後の毎月返済額や総返済額がどのくらい増えるかは、ケースバイケースです。残高や完済までの期間、借入金利率等を基に銀行で試算してもらった方が明瞭です。

住宅ローンのボーナス払いが厳しい場合は、返済を猶予していただいて将来のボーナス時に上乗せするか、毎月の変や胃をボーナス分増やすのが主な方法になります。但し「返済負担の軽減はあくまでも緊急避難の対策」であることを忘れてはいけません。コロナ禍は、永遠には続きませんが、いつ現状が好転するかは誰にも分かりません。節約できる部分を見つけて、支出を見える化し、収入を増やす方法を考えるべきです。そのときに最も頼りになるのは、住宅性能です。本物のZEH(ゼロ・エネ・ハウス)、循環空調などの経費のかからない住宅こそ、このような不確かな時代だからこそ力を発揮し、お施主様のお力になれます。今後とも松下孝建設を宜しくお願い致します。